

ミニ オレンジフェスタ in かんだ 「オレンジ・ランプ」上映会

認知症になっても、その人らしく生きるために

認知症になっても、希望を持ってその人らしく暮らし続けることができる——こんな考え方が、今、広がっています。

「オレンジ・ランプ」は、39歳で若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに描かれた映画です。本人や家族の想いに触れながら認知症について一緒に考えてみませんか？

【日時】11月7日④ 13:00 開場

13:30 ~ オープニングアクト

13:45 ~ 『オレンジ・ランプ』上映 (100分)

【場所】パンジープラザ集団健診指導室

【入場料】無料 【定員】150人 (先着順・要申込)

【申込】下記に電話もしくは右上コード

福祉課 ☎ 093・434・1039

地域包括支援センターかんだ ☎ 093・436・1301

地域包括支援センターおばせ ☎ 093・482・2523

地域包括支援センターしらかわ ☎ 0930・23・7227

● 問い合わせ／福祉課 ☎ 093・434・1039



申込は
上コードから



10月スタート 国民年金保険料の育児免除制度

育児期間中の経済的な負担を支援するため、子を養育する第1号被保険者の子が1歳になるまでの期間、国民年金保険料の納付を免除される制度が10月から新たに始まります（要申請）。

【対象】10月1日以降、1歳になるまでの子（※）を養育する国民年金第1号被保険者の実父母・養父母

※法律上の親子関係がある子（実子および養子）に加えて、特別養子縁組の監護期間にある子および養子縁組里親に委託している要保護児童も該当します。

【子を養育する要件】子と身分（親子）関係が継続し、子と同一住所であること

【国民年金保険料が免除される期間（令和8年10月1日以降に限る）】

○実母の場合／産前産後免除期間を有する実母の場合は、産前産後免除期間に引き続く9か月間

○実父または養父母の場合／子を養育することとなった日の属する月から、1歳になる誕生日の前月までの最大12か月間

【申請方法】電子申請（マイナポータルから）か、窓口申請（小倉南年金事務所・役場保険健康課）

【必要なもの】

被保険者：基礎年金番号が確認できるもの、またはマイナンバーが確認できるもの

被保険者の子：マイナンバーが確認できるもの

詳細は右コードからご確認ください



● 問い合わせ／小倉南年金事務所 ☎ 093・471・8873

レベル5 大雨特別警報

■発表されたときにとるべき行動



すでに安全な避難ができず、命が危険な状況です！むやみに移動せず今いる場所よりも安全な場所へ移動して身の安全を確保しましょう。

浸水した場所での車移動は危険！

立ち往生し水没するおそれがあります。むやみに移動せずに安全な場所で状況が落ち着くまで待機しましょう。

河川・用水路・冠水した箇所へ絶対に近づかない！

特に地下施設やアンダーパス、低地は短時間で浸水する危険があります。浸水深30cm以上となる低地は要注意！



市町村が発令する警戒レベル4避難指示までに必ず避難しましょう！

レベル5大雨特別警報が発表される前段階から最新の気象・避難情報を確認！

テレビ、ラジオ、インターネット、SNS、防災行政無線等で最新の情報を確認してください！

浸水リスクを確認しましょう！

自分のいる場所が、河川の氾濫や内水氾濫による浸水リスクがないか、町が公表しているハザードマップや防災情報を確認しましょう。

■発表されたときの車運転の注意点



浸水が懸念される時は車での移動を控えてください！冠水した道路への進入は命に関わる危険があります。安全を最優先に行動しましょう！

車はわずか30cm程度の浸水でも走行不能になる場合があります

エンジン停止や水圧で窓やドアが開かなくなります！

万が一、ドアが開かなくなった場合の備えとして、脱出用ハンマーをすぐに使える位置に！



水深が床面を超えると、電気装置が損傷し、自動スライドドアやパワーウィンドウが動作しなくなるおそれ

脱出用ハンマーで割れる

吸気口から浸水するとエンジンが停止し、再始動しなくなるおそれ（速度が大きいと浸水しやすくなる）

水深がドアの下端にかかる、水圧により、内側からドアを開けることが困難

マフラーから浸水するとエンジンが停止し、再始動しなくなるおそれ



■9月1日、「防災の日」にあわせ職員防災訓練を実施

南海トラフ地震により菊田町で震度5強の揺れを観測したことを想定し、まずは机の下等に隠れ自身の安全を確保するシェイクアウト訓練を実施しました。その後、庁舎外へ徒歩にて避難する訓練を行いました。また、来庁者が負傷したことを想定した訓練や避難誘導も実施しました。当日は200名近くの職員が参加し、5分ほどで避難を完了しました。緊急時に的確な行動がとれるよう、今後も、職員の防災意識向上及び防災力強化に努めてまいります。

